

■竹内好 中国文学者、評論家。〈戦時〉下に独自の中国観を育て、〈日中国交回復〉まで中国紹介啓蒙の評論活動。

たけうちよしみ

韓国併合・・・1910＝ 長野県南佐久郡臼田町で、医者の家系出身の税務署員で、上諏訪社の神職分家の商家出身で当地では稀有の東京の女学校を卒業し筆達者だった竹内起よしに婿入りした武一の長男に生まれる。

明治天皇没・・・1912＝ 2歳：弟が誕生。

大正政変・・・1913＝ 3歳：父の転勤で東京に移住。

21ヶ条要求・・・1915＝ 5歳：父が退職し、遊園地つくるなど種々の事業を始めるも失敗続きで、以後、貧困のなかに育ち、

民本主義・・・1916＝ 6歳：妹が誕生。

ロシア革命・・・1917＝ 7歳：麹町区立富士見小学校に入学。

第一次大戦終1918＝ 8歳：一家は大久保百人町の父の弟宅に居候となる。

ベルリン条約・・・1919＝ 9歳：

大暴落・・・1920＝10歳：担任に文才を認められ、作文集つくる。荏原郡大崎に転居、電車で通い、立川文庫や「巖窟王」に熱中。

原敬首相暗殺1921＝11歳：

関東大震災・・・1923＝13歳：卒業し、東京府立第一中学校に入学。{校友会雑誌}に作文「花の都」が掲載される。

護憲三派圧勝1924＝14歳：母が死去。_学校嫌いで友人無く、人生に行き詰まり、山本有三の戯曲「生命の冠」に出会い、文学に開眼。

治安維持法・・・1925＝15歳：芝区白金に転居。再婚した父が移った先と、叔父宅との間を往来。

金融恐慌・・・1927＝17歳：中学4年で一高、三高を受験して失敗。

共産党事件・・・1928＝18歳：卒業し、次善の策と、大阪高等学校文科甲類に入学するも、後悔。同期に保田与重郎ら。入寮し、

世界恐慌・・・1929＝19歳：図書委員として{帝陵}編集に参加。

海軍軍縮条約1930＝20歳：{校友会雑誌}発行する学芸部編集委員。検閲に抵抗し、部長の教授と衝突。{帝陵}編集委員5人が特高警察により留置され、生徒ストのなか、学校当局糾弾演説。

満州事変・・・1931＝21歳：卒業し、_東京帝国大学文学部支那文学科に入学、武田泰淳と知合う。{中央公論}の長岡克晴「蒋介石の支那」を読んで支那問題を痛感直後に、満州事変。支那語文速成講習会に通い始め、魯迅「阿Q正伝」に感心。_外務省対支文化事業部補助による朝鮮満州見学の学生団体旅行に参加し、解散後も自費で北京を訪ね、風景や人物に魅了され、中国文学にも本気になって、帰国。

帝人疑獄事件1934＝24歳：(同学科卒業生中唯一の現代文学論)「郁達夫研究」提出して、卒業。武田らと{中国文学研究会}始め、

芥川直木賞始1935＝25歳：謝冰瑩「梅姑娘」を訳し{婦人文芸}に発表。*郭沫若から題辞貰って、{中国文学月報}を創刊。

二二六事件・・・1936＝26歳：「魯迅論」執筆中、魯迅が急逝、特輯号に急ぎ「死」一編を記載し、哀悼の意。郁達夫歓迎会。

日中戦争始・・・1937＝27歳：武田の出征を送った後、_外務省補助金で中国に留学し、デカダンスに耽まれて、

第二次大戦始1939＝29歳：父が死去。_帰国。

大政翼賛会・・・1940＝30歳：「支那と中国」。_回生し、{中国文学}と改題して市販とする一方、回教圏研究所研究員となり、

日米開戦・・・1941＝31歳：日米開戦に、支那事変のうしろめさが払拭され、{中国文学}「(宣言)大東亜戦争と吾等の決意」を書く。

・・・1942＝32歳：イスラム教調査のため中国に出張。中野重治「斎藤茂吉ノート」読んで衝撃をうけ、他方、太宰に心酔。

創価学会検挙1943＝33歳：「支那研究者の道」。_解散し廃刊。死を覚悟して「魯迅」書き上げた後、応召して、中国に送られ、

年金+総武装1944＝34歳：落馬して意識不明なったりアメーバ赤痢に苦しんだ後、宣撫班や報道班で中国語教育に携わるうち、

敗戦・・・1945＝35歳：敗戦。武昌に赴き、第四野鉄司令部鉄道運管隊の臨時通訳となる。謝冰瑩に再会し、戦前とつながる。

新憲法公布・・・1946＝36歳：*復員。旧同人による{中国文学}を復刊と認めず「覚書」、中国文学研究会旧同人の例会には毎回出席。「支那」が「中国」にされていたことに抗議するもそのまま、「魯迅」刊行。魯迅研究に大きな影響を与える。

極東裁判決・・・1948＝38歳：「中国の近代と日本の近代」、「世界文学はほどぶつく・魯迅」。{思想の科学の会}鶴見俊輔と交流始まる。

三大事件・・・1949＝39歳：結婚。評論集「魯迅雑記」。{思想の科学研究会}発会し入会。{展望}に「伝統と革命」寄稿し、以後、常連。

朝鮮戦争始・・・1950＝40歳：長女が誕生。_「日本共産党批判」を発表して、論壇に登場。

独立回復・・・1951＝41歳：次女が誕生。中野重治と親交始まる。「現代中国論」。_「近代主義と民族の問題」で「国民文学論争」。

メデー事件・・・1952＝42歳：評論集「日本イデオロギイ」、作家論「魯迅入門」。_以後生涯、各地・大学で講演・講義。

TV放送始・・・1953＝43歳：_都立大人文学部教授。{思想の科学研究会}会長、福永健司選挙違反糾弾浦和市民大会委員長、

自衛隊発足・・・1954＝44歳：評論集「国民文学論」「知識人の課題」。_「魯迅友の会準備会」組織し会報発刊。

55年体制始・・・1955＝45歳：訳書「(魯迅)野草」「統魯迅作品集」「(魯迅)阿Q正伝・狂人日記」。

国連加盟・・・1956＝46歳：日教組教研講師。共訳で「魯迅全集」。原水禁世界大会中国代表として訪日した魯迅未亡人許広平と懇談。

なべ底不況・・・1957＝47歳：_「魯迅友の会」正式発足。安保条約改定反対運動始め、憲法問題研究会、警職法反対文化人の会にも参加。

美智子妃・・・1959＝49歳：_論文「近代の超克」で完全復活。日教組教研集会で激論し、辞任。都立大内に「安保の広場」をつくる。成立した{安保批判の会}に参加。

安保闘争・・・1960＝50歳：_安保反対運動に全力を傾注するも、強行採決で、都立大を抗議の辞表、以後、民主主義守る運動。

イタイ病始・・・1961＝51歳：初のスキー、以後病みつき。評論集「不服従の遺産」。{思想の科学研究会}嶋中事件対策協議会の座長、中央公論社が{思想の科学}の「天皇制特集号」を発売中止したため絶縁。{日本のなかの中国研究会}結成、

全国総合計画1962＝52歳：{思想の科学社}設立で社員となり、{思想の科学}自主刊行。

TV宇宙中継始1963＝53歳：*{中国の会}と改称して雑誌{中国}を発行。日中国交のない時代に、大きな役割を果たし、

東京リビック1964＝54歳：

大学紛争始・・・1965＝55歳：立間祥介編著「竹内好著作ノート」が刊行される。乾性肋膜炎・肺炎で、危険状態に陥り、静養、

いざなぎ景気1966＝56歳：以降7年、雑誌{中国}で「中国を知るために」を連載し、{中国の会}を多数開催。「魯迅逝世三十年記念会」に反対し、日本中国文化交流協会を脱会。この間、諸研究会への出席、評論集、訳書の刊行続く。

美濃部都知事1967＝57歳：「中国を知るために」刊行。「(東京都知事候補)美濃部亮吉を励ます会」に出る。

大阪万博・・・1970＝60歳：評論集「予見と錯誤」。「中国を知るために」第2集で、_毎日出版文化賞。右翼から脅迫状、犯人逮捕。

トクショク・・・1971＝61歳：中央公論社と和解成立、執筆拒否を解く。

日中国交回復1972＝62歳：東京駅前のチツソに抗議する座りこみを見舞う。_国交回復を機に、{中国}を休刊。

石油ショック1973＝63歳：「中国を知るために」第3集。戦中の文章収めた評論集「日本と中国のあいだ」。大酔で階段を転落して人事不省、入院。退院後も温泉療養。*{中国の会}も解散し活動を終る。個人訳「魯迅文集」(全6巻)を計画し、

クアランプール事件1975＝65歳：松本健一「竹内好論」が刊行される。

田中角栄逮捕1976＝66歳：武田泰淳が死去、葬儀委員長をつとめた後、_刊行開始まもなく、急速に衰弱し、

JALハイジャック・・・1977＝67歳：第三巻解説を口述した後、肺がんで_没した。